

令和7年度 ヘルパーステーションはなはな 事業計画

基本方針

当事業所は、「地域に根差し、利用者・職員・地域を笑顔にする介護サービス」を理念とし、利用者の尊厳を守りながら、心の通う訪問介護を提供します。職員がやりがいを持ち、長く働ける環境を整え、地域とともに発展する持続可能な介護事業を目指します。

基本目標

1. 利用者ファーストの支援：個々の生活スタイルを尊重し、利用者が「自分らしく」暮らせる支援を提供する。
2. 職員の成長と幸福：専門性を高める研修と、働きがいのある職場環境を整備する。
3. 地域貢献と共生：地域の関係者と連携し、共に地域社会の発展に貢献する。

処遇方針

当事業所では、利用者が自宅で安全かつ快適に生活を続けられるよう、一人ひとりの状態やニーズに合わせた適切なサービスを提供します。また、認知症ケアや医療連携を強化し、利用者の生活の質を向上させることを目指します。

処遇計画

1. 個別ケアプランの強化：利用者ごとの生活状況や健康状態に応じた柔軟なサービス提供。
2. 見守り・安否確認の充実：訪問時の健康チェックや緊急時対応の迅速化。
3. 認知症ケアの強化：専門研修を受けたスタッフの育成とケアの提供。
4. 医療機関・地域との連携：地域の医療・福祉機関と連携し、包括的な支援体制を確立。

重点目標

基本方針を踏まえ、令和7年度の重点事項として実施します。

1. 利用者満足度アンケートの実施と、改善策の検討・実施。
2. 食事・排泄・服薬など介護サービスの見直しを行い、より効率的で質の高いケアを提供。
3. 訪問時の事故防止対策の強化（転倒予防、誤薬防止、火災対策など）。
4. 利用者・家族への安全管理に関する情報提供を積極的に実施。
5. ケアマネジャー、地域包括支援センター、医療機関と連携し、支援体制を強化。
6. 地域住民との交流イベントの開催を通じ、孤立防止や情報共有の場を提供。

本事業計画を実行することで、当事業所が「関わるすべての人が笑顔になり、幸せを感じる介護サービス」を提供できるよう努めます。